



## まちと人の 新しい関わり方を つくろう



本日のグラレコ  
山口翔太さん



### 三谷 繭子さん

株式会社 Groove Designs 代表取締役  
シティラボ東京コミュニティ・マネージャー  
元ソトノバ副編集長

都市計画コンサルタントとして大規模開発事業の推進等に從事したのち Groove Designs として独立。全国各地で地域主体のまちづくりを支援し、多様な人々の価値観やアイデアでまちのグルーヴをつくりだす活動を展開。また、持続可能な都市づくりのためプラットフォーム「シティラボ東京」の立ち上げ・運営等に携わる。広島県福山市出身。



### まちづくりカフェたかつ vol.6

■日時：2020.11.22(日)14:00～16:00

■場所：澁谷農園『母家』

■参加者：10名



まちづくりカフェたかつ vol.6 概要

■日時：2020.11.22(日)14:00～16:00

■場所：澁谷農園『母家』



まちと人の新しい  
関わり方をつくろう



三谷 繭子さん

(株式会社 Groove Designs 代表取締役  
/シティラボ東京コミュニティ・マネージャー  
元ソトノバ副編集長)

## ◆ゲストトーク

高校卒業まで過ごした自分のまちが嫌いで、早くまちから出たいと関東の大学へ進学した三谷さん。しかし、地元の話を持ち上げてくれる同級生たちと接するうちに、自分のルーツやアイデンティティに誇りを持ってない自分に気づき、仕事として都市計画をする一方、課外活動として嫌いだった地元に向き合うプロジェクトを始めました。道もちょっとした空地も「パブリックスペース」。福山駅前の歩道を使ったまちづくりの実験では、大学生が作ったスツールを置き、マーケットやイベントを開催。すると、人がいなかったまちが賑わうようになったそうです。実はみんな居場所が欲しかった！地域の課題や特性に応じた活用をすることによって、パブリックスペースがまちづくりの舞台に代わり、その体験がまちへの愛着となると教えていただきました。



## ◆クロストーク (聞き手：(株)イータウン斉藤)



三谷さんの提唱する何かの始め方のコツは、①ひとりではじめるよりも、誰かと一緒に、②気になるコミュニティ・イベントに参加してみる、③迷ったときは、自分の思いの原点に向き合ってみる。の3つ。誰かと一緒にやるにも、一緒にやりたい場合と、関係性を作らなければいけない場合の2通りがあること、自分の思いを口頭でも SNS でもとにかく語ること、まちを歩いて見えそうな場所を探すなど、参加者からの質問にも答えていただきました。

## ◆想いの共有タイム

参加者一人一人が関心事を話していく中で、公園のポイ捨ての話題が出ました。清掃活動や他地域での様子を話すうちに、三谷さんから、椅子やテーブルを置いて人の気配を残すことや、椅子も毎回出し入れすることで手入れされていると感じるようになることなど、メッセージを発することも方法の一つと教えていただきました。まちを楽しみ、まちが自分事になっていくことで、まちの問題も解決していくかもしれません。



## ●交流会 (任意参加)

終了後、30分の自由な時間を取りました。ほぼ全員が残り、参加者同士で話す輪ができて、講師に質問したり、シャボン玉の実演があったり・・・それぞれの興味と得意と熱意を共有しました。実際に人と人が顔を合わせると、あちらでもこちらでも話題ができ、つながりができます。最近ではなかなかできない、貴重な語らいの時間となりました。

